

Japan Polymer Technology Co., LTD

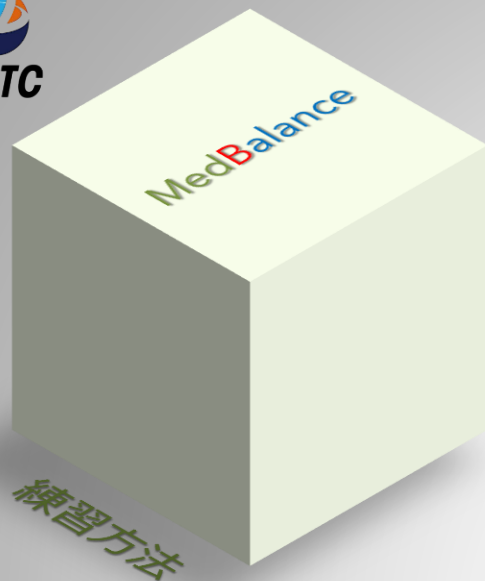
練習用持針器・腹腔鏡手術下縫合練習用製品のパイオニア

日本高分子技研株式会社

Company & Products We Carry

JPTC Laparoscopic Training Lab that fits in your bag





MedBalance



デバイスホルを使う



くぼみを使う

参考例として次の3ステップを紹介いたします。時間をかける必要性はなく、日々のトレーニングに加えてください。

① 通常の縫合結紮トレーニング (5～10分)

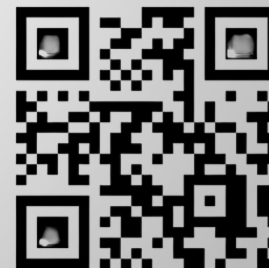
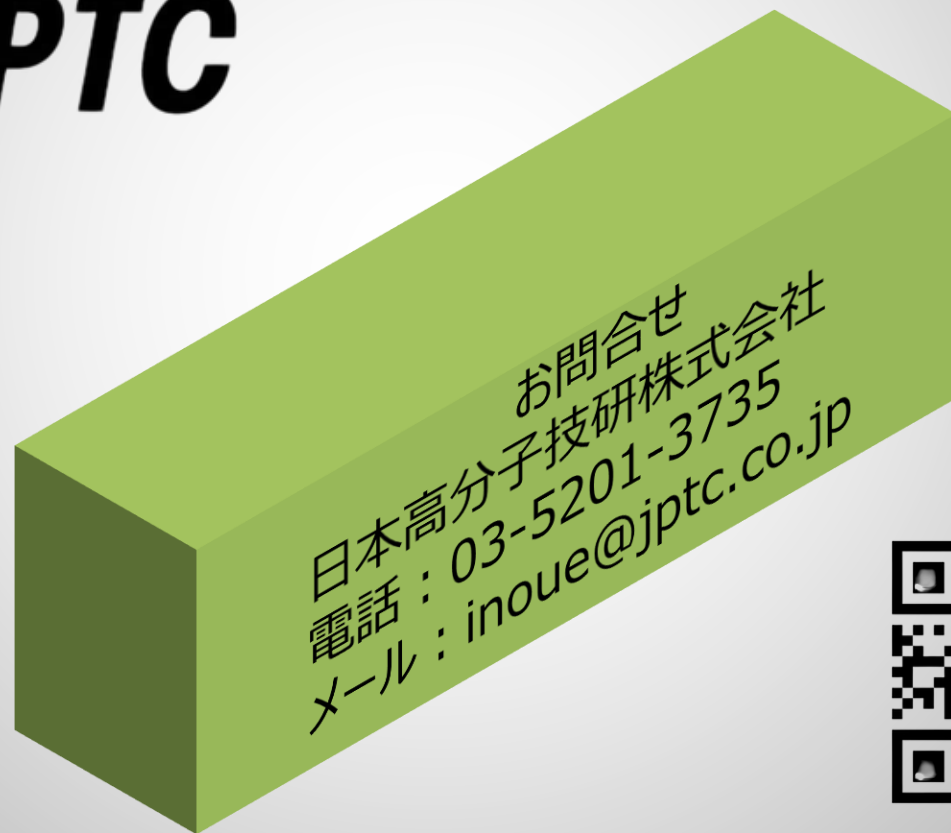
デバイスホルを使用し、通常の縫合結紮操作を行います。現在の自分の操作感覚を把握するステップです。ここで手ブレを感じる場合はすぐにステップ②へ。

② 手ブレ矯正トレーニング (5～10分)

PivotOneの円周に配置された「くぼみ」にのひとつに鉗子を軽く押し当てます。くぼみの底に鉗子が触れている感覚を常に意識しながら、「ゆっくり」と縫合操作を行うことがポイントです。意識が途切れると鉗子が外れてしまうため、自然と“安定した操作”を身体が学習します。

③ 再度、通常の縫合結紮トレーニング (5分～10分)

再びデバイスホルを使用して縫合結紮を行うと、1回目とは異なる“安定した感覚”に気づくはず。これこそが、手ブレ矯正トレーニングの効果を実感できる瞬間です。



Shop